

第9回 地方鉄道向け無線式列車制御システム技術評価検討会 概要

1. 日 時 : 令和7年3月19日(水) 10:00~12:00
2. 場 所 : 中央合同庁舎3号館6階 鉄道局大会議室
3. 出席者 : 中村日本大学名誉教授、古関東京大学教授、高橋日本大学教授、
研究機関、関連団体、鉄道事業者、国土交通省鉄道局、日本信号株式会社
4. 結果概要 :

日本信号から、地方鉄道向け無線式列車制御システムについて、進捗状況や現車試験の試験項目・内容の報告が行われた後、意見交換を実施した。(一部修正あり)

委員からの主な発言は以下の通り。

- P11で「公衆無線としては駅構内は専用無線との併用、駅中間は公衆無線を用いた踏切制御を実施予定。」と記載があるが、使用する無線方式と装置構成について、列車制御用と踏切制御用にわけて記載するとよい。
- フォーク折れ発生時は、見かけのTG速度は低めかもしれないが、高い場合と低い場合の両方を含め、あらゆるケースを想定して、検討したとすべきである。
- 表記方について、本システムは健全なTGの信号があり、その信号と比較しているが、真の速度・位置を知ることができないため、誤差は健全なTGとの差であると定義すべきである。
- 本システムでは、故障検知に位置の誤差である $\pm 50\text{m}$ を使用しないのであれば、速度条件のみで整理し、位置については、参考値と記載するとよい。